

## 編集 後記

第64巻10号には、地域保健に関する論文を中心として、4題掲載された。それぞれが、異なったアプローチで我が国の公衆衛生の推進に有用な情報を提供している。高齢期のフレイルが自立喪失に及ぼす影響の研究は、注目されている概念を、介護認定のための情報から算出し、実際に自立喪失に影響があるかを観察したものであり、リスクを持つグループを特定し、あらかじめ支援や予防介入ができる可能性を示唆している。精神保健福祉相談員の技術支援についての論文では、「目に見えない」技術支援の内容を、質的分析により整理し、個人の職人芸に頼らず、今後の活動をより効果的に実践できるよう道筋を立てたものであると評価できる。平均診療間隔の変化をもとに、患者調査による推計患者数が大きく変化することを示した論文は、推計の方法論や定義が変わるだけで、保健医療政策を大きく変えてしまう恐れを示唆している。地域包括センターに対する調査結果は、その役割の困難さ、業務量、自治体との調整に関してセンターが課題や悩みを抱えていることを明らかにし、組織運営についてのヒントを提示した。

本号の掲載論文が示すように、公衆衛生がカバーする分野は多岐にわたり、またそれぞれの分野で、プロジェクトのための統計情報の整備と分析、組織の効率的な運営と実務に携わる専門家の技術の向上や標準化の全てが円滑に実施されない限り、期待された成果は得られない。公衆衛生や保健医療政策で用いられる「Comprehensive」「包括的」という言葉が形式的なキャッチフレーズにならないよう、横断的な繋がりを日々意識する必要があるだろう。

(松田智大)

## 次号予告 (第64巻・第11号)

### 原著

- 介護保険新規認定者において要介護度が重度となる原因疾病の検討……………高橋恭子, 他  
 メディカルフィットネス利用経験者における性格特性と運動継続との関連……………山下優子, 他  
 全国自治体病院対象の医療通訳者ニーズ調査……………濱井妙子, 他

### 資料

- 野菜・果物栽培活動と健康関連要因との関係：都市近郊部在住中高年男性の市民農園利用者に焦点を当てて……………町田大輔, 他